

好きやねん湖東

第10号

入学・入園おめでとう!!



第一幼稚園



第二小学校



第一小学校



ひばり保育園



第三小学校



湖東中学校



心、ウキウキ 入学式!
皆さん、暖かく迎えてあげてね

今後の取り組みについて熱心に話し合い

第1回目のまち協「高齢者福祉部会」開く

湖東地区まちづくり協議会の具体的な活動のための組織としてつくられた「高齢者福祉部会」(市田徳男部会長)の第1回目の会合が3月22日、湖東支所の会議室で開かれました。

この部会では、まちづくり協議会の運営委員や市民の代表をはじめ、湖東支所福祉課や社会福祉協議会のメンバーも加わって、市民と行政の協働により高齢者福祉に関する諸問題を検討し、具体的な活動を進めていこうとするものです。

この日は、第1回目の会合であったため、出席者から当面する高齢者福祉の諸課題について色々な意見が出されました。今年の4月からは、介護保険の制度が改正され、認知症などについては予防策に力を入れることになっており、具体的には湖東地区(旧湖東町)を日常生活圏域として、計画を立てたり施策を実施することになります。

こうした観点からの意見もいただきましたが、この日の部会では、当面検討すべき課題としては、長年続けられてきたプラチナハウスでのデイサービスについての今後のあり方などについて、重点的に取り組むべきだという方向が示されました。

このほか、高齢者福祉部会では、現在各自治会の単位で行われている「あったかサロン」を、今後どのように充実させていくかなどの課題についても、市民のみなさんのご意見を伺いながら取り組んでいくことにしています。(野村)



「このお年寄りたちの幸せのために」

おじゃましま～す

いきいき さろん『いっぴく』

小八木町



今回は、3月11日(土)に開催されました小八木町の「いきいき さろん『いっぴく』」におじゃましました。

このさろんは、女性4人でつくるボランティアグループ『いっぴく』さんが、毎月第二土曜日に開いているもので、小八木町の70歳以上の方なら、どなたでも参加できるそうです。

最近では、『いっぴく』という言葉が耳にしなくなりましたが、ひと昔前までは、隣同士や道を通る人をつかまえては、「いっぴくしていきや」と声をかけては縁側などで、ゆったりとした時間を過していました。

更に家でひとり過ごされているお年寄りの方も多くなり、「どこか皆で、いっぴくする場所があればいいのにな」ということから、いきいき さろん『いっぴく』を思いついたそうです。

その名前の通り、さろんの雰囲気はとても和やかで、私たちも当日は皆さんと一緒にあられ作りをさせていただきました。

「昔よく作ったあられを久々に作れて楽しかった」と、参加者の方はとても嬉しそうでした。

お世話する、されるのではなく皆で『いっぴく』できる場所、その言葉のとおり、一緒にいっぴくさせて頂いた私たちまで、なんだか優しい気持ちになれたひとときでした(高野)

まちかどにゆ～す

完成しました！

東近江市消防団

(第17分団)

消防車庫・詰め所



東近江市消防団第17分団は、湖東東駐在所管内にあたる15集落を中心に、地域の火災予防・防災活動に励んでいただいております。

「緊急時にすぐ駆けつけられる場所にポンプ車を配置したい」との思いから、旧はちす保育園跡地に今回建設されたものです。

分団長の福田均さんは、「地域の皆さんに安心・安全を身近に感じてもらえる活動拠点の場として活用していきます。また、私たちと一緒に活動してくれる消防団員を随時募集しています。みんなで湖東地区を火災や災害のない地区にしましょう。」と、あつい思いを語って下さいました。

なお、車庫前は、駐車禁止となっていますので、ご注意下さい。(福田)



今月の注目

いつも、若い人たちに囲まれている 小川さん にインタビュー

今回は、南花沢町の小川忠喜さんをお訪ねしました。
小川さんは趣味の達人で、スキー、ヨット、テニス、登山、写真と色々なことに挑戦されています。

「遊びは、何でもおもしろい。ヨットのレースでは、いまひとつよい成績は残せていませんが、やっていておもしろいです。何でもそうですが、うまくなる過程がおもしろいものです。だから、色々な事に挑戦しているのです。」

そうおっしゃる小川さんには多くの若い人が慕っています。

経営する工場の隣にある倉庫を、テニス練習場に改装し、壁面にはロッククライミングボードが設置され、毎週多くの人が集まっているようです。

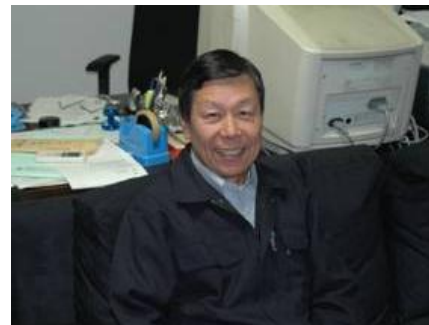
また、2階にはいつでも、みんなが気軽に集えるようにと、大きな和室も完備しており、ここで若い人と語り合う小川さんの姿が浮かんできました。

若い人たちと世界中の山や海を制覇し、小川さんは人生を楽しんでおられると思いました。

57歳の小川さんの優しい笑顔に取材させていただいた二人も早速、ファンになって帰ってきました。

もっと知りたい方は、ホームページにてご覧下さい。(小島)

<http://www.biwa.ne.jp/~bluffers>



小川忠喜さん(57歳)



まちかどだより

おきがるに ど~ぞ



大橋編集部員 と 山田さん

商工会女性部で活動されている長町の山田春子さんに「おきがるに」についてお話を伺いました。

皆さん、「きがるにどうぞ」という手作り看板を見られたことがありますか？

これは、商工会女性部さんが『住みよい街づくり』を提唱する中で考えられたもので、店を出している立場上、地域の皆さんを見守ることがいつでもできることから、子どもからお年寄りまでどなたでも、どのようなことでも(トイレを借りたいなど)自由に気軽に店へ立ち寄りして下さいというものです。

山田さんは「子供さんには、これからもおもいきり遊んでもらいたい。安心して大人になってもらいたい。」と語っておられました。

また「何か困ったことがあればもちろん、無くてもおばちゃん顔を見にきて下さいね。」と、まるで街のお母さんという印象を受けました。

この看板を置いておられるお店は、各町に1~2箇所あるそうです。

皆さんも看板を見つけれたら、ぜひ一度、**お気軽**に立ち寄ってみてください。(大橋)

この人を紹介

竹細工の 匠を 訪ねて



西澤敏三さん(82歳)

今回は、近所の方から“みーやさん”の愛称で親しまれている、西澤敏三さん(読合堂町在住)をお訪ねしました。

さすが、^{みーや}箕屋さん”と呼ばれる由縁だけあって、やはり竹を元材とした箕が、大きな物から小さな物まで数多くありました。約40センチ四方の竹箕を作るのに 半日も要するそうです。

敏三さんが、竹箕を製作し出したのは、20歳の頃だそうです。途中、会社勤めの間もありましたが、退職後は、また改めて精力的に作り出し、今では年間約200個も製作するそうです。

竹箕の他にも、昔は、どこの家にもあった竹かご、花かごなども作られています。

これらは全て丹念に作られた品々であり、大変、暖かみのある作品ばかりでした。

なお、製作した品は、みさき館へ出品されているそうですので、興味のある方は、手に取って匠の技をお確かめ下さい。(K.N)

スポ根物語 —野球編—

少年野球『湖東マンガース』

目標 毎年県大会に出場する！
友達を大切にする！
時間を大切にする！
道具を大切にする！
両親に感謝する！
気持ちで負けない！！
このような選手に育ってほしい！！



取材当日は、試合でしたが、途中から雨が降り出してきたにも関わらず、子どもたちは大きな声を出して元気一杯でした。
「年間の試合数は、公式戦（１５～１６試合）と、練習試合を合わせると約５０回にもなります！試合の中で学ぶことは、たくさんあるので試合を数多くこなすことによって、そこで得られる経験を大切にしたい」とのことでした。

去る、３月１２日には、湖東地区の資源回収にも参加されました（新聞や古本の回収の手伝い）。

なぜ、資源回収に参加したのかを尋ねてみると、「地域があつての湖東マンガースなので、地域になじんでふれあいを大切にしてほしい！」との思いから参加されたそうです。

また、「毎週土曜日が練習で、日曜に試合があると週末は野球漬けになってしまいます。そこで、気分を変えるために参加したという意味もあります。これからは、色々なイベントに参加したい」と話しておられました！

“湖東マンガース”という名前になってまだ２年目です。マンガースは小さな体でへびに噛み付き最後まで離さない！最後まで諦めないという意味で“湖東マンガース”という名前にされたそうです。（岡島）

メンバー：クラブ員 ３０人（内女子は、２人）、コーチ ５人
練習日：毎週土曜日 場所：湖東第二小学校グラウンド

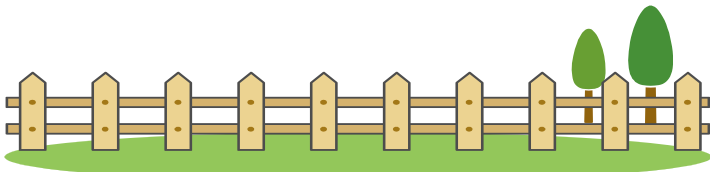


お知らせ

本誌、好きやねん湖東では、

- ・おばちゃんのお知恵袋
（例えば風邪の直し方など）
- ・地元だけの特別な料理
- ・わが家のお宝

といった、情報をお待ちしています。
提供して頂ける方は、事務局までご連絡下さい。



<編集・発行>

湖東地区まちづくり協議会

（事務局）

〒527-0113 東近江市池庄町 505 番地

東近江市 湖東支所 地域振興課内

TEL 45-3702 FAX 45-1570

E-mail: k-machikyo@koto-ken.jp



お宅の 廃食油 で

今年の“コトナリエ”が

点灯します



コトナリエ実行委員会では、今年のコトナリエを
８月５日～１５日に開催する予定で準備を進めています。

今年は、イルミネーションに使用する電力を環境に
やさしいBDF（※１）を使用したディーゼル発電機で
まかなう予定です。

そこで、BDFの原料となる廃食油がたくさん必要と
なります。今後、廃食油の回収について皆さんにご協力
をお願いすることとなりますが、その節にはよろしくお
願いします。

また、７月からは、各土曜日・日曜日にイルミネー
ションの設営作業を始めますが、２０万球以上を設置する
には相当の人手が必要となります。

設営作業には、たとえ１時間でも結構ですので是非皆
さんのご協力をお願いします。

（※１） BDF（バイオディーゼルフューエル）＝
廃食油を精製してできるディーゼル燃料。軽油の代
替として使用できる環境にやさしい燃料。